

株主の皆様へ

# 第60期 報告書

平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで



未来へアクセス

株式会社 日伝

東証1部 コード：9902

## 設立60周年 第2の創業 価値観を見直し生まれ変わる年



代表取締役社長  
**福家利一**

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

6月24日開催の取締役会におきまして代表取締役社長に選任され就任いたしました。微力ながら、社業の発展に専心努力いたす所存でございますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、この度の東日本大震災によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社第60期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

### 社員一人ひとりが自ら考えて行動し、 環境の変化に対応した営業展開を図る。

当事業年度におけるわが国経済は、新興諸国の景気拡大やわが国をはじめ欧米各国政府による景気対策や支援策にも支えられ、企業収益が改善するなど、回復の兆し

が鮮明になりました。一方で厳しい雇用環境やデフレ状況が続いているほか、世界経済の下振れ懸念や急激な円高による輸出企業への影響など、依然として先行きに不透明感が残る状況で推移いたしました。また3月11日に発生した東日本大震災により未曾有の被害を受け、製造業への影響の範囲とその拡がり懸念されますが、当事業年度における当社への影響は軽微でありました。

当社を取り巻く機械器具関連業界は、中国をはじめとする好調なアジア経済の需要や製造業の海外委託生産の増加に支えられて工作機械の受注も回復傾向にあるほか、自動車関連や産業機器、情報機器をはじめとする輸出関連企業が牽引する形で、ようやく設備投資意欲にも持ち直しの動きが見られました。

このような状況の下で、当社は期初より『2010 (TWO-TEN) **社員一人ひとりが創業者 一未来を拓く**』を基本方針として、社員自ら考えて自律的に行動し、幅広い業界に対応できる商品を取扱い、物流機能を有する当社の強みが発揮できるように、ユーザーの視点に立って、提供価値と利便性を追求し、環境の変化に対応すべく営業展開を図ってまいりました。

### 環境配慮商品への取り組みなど、 企業のトータルコーディネート機能の充実を図る。

営業面では、中国、東南アジアにおける営業強化のため、平成22年8月より「NICHIDEN (Thailand) Co.,Ltd.」がタイのバンコクで営業を開始したほか、「日伝国際貿易（上海）有限公司」が平成22年8月に天津事務所、平成23年1月に蘇州事務所をそれぞれ開設いたしました。一方国内においては、6月に東京ビッグサイトで行われました機械要素技術展に出展するなどの全社的な取り組みに

加えて、各支店・営業所単位においても、お取引先のご協力も得ながら展示会（MEKASYS展）を開催し、様々な角度から情報提供や情報交換活動を行い、市場ニーズの収集と商品拡販戦略に繋げてまいりました。また現在お取引先への浸透を図っておりますWebカタログの製品情報サイト「MEKASYS」(<http://www.mekasys.jp>)及び電子購買サービス「PROCUEbyNET」(<http://www.procuebynet.com>)はもとより、12月にはWebカタログサイトとの連携強化した販売ツールとして、メカニカルパーツ&システム総合カタログ『MEKASYS』を発刊いたしました。さらに加工事業及びエンジニアリング事業の強化や、「伝えます 未来にやさしい環境をACCESS to ECO ～環境をシステムで創造する企業日伝～」をキャッチコピーとして環境配慮商品への一層の取り組みなど、企業のトータルコーディネート機能の充実を図ってまいりました。

設備面では、平成22年10月に手狭になっておりました姫路営業所を移転、平成22年11月には東大阪営業所の改修や、老朽化が進んでおりました静岡営業所の建替え工事も完了、平成23年1月には北九州営業所の移転、平成23年2月に仙台営業所の建替え工事が完了するなど、業務効率を高めるとともに、販売力の強化を図ってまいりました。

この結果、当事業年度におきましては、売上高796億6百万円（前年同期比35.8%増）、営業利益34億5千1百万円（前年同期比168.8%増）、経常利益35億9千8百万円（前年同期比151.6%増）となり、当期純利益につきましては、20億2千6百万円（前年同期比264.0%増）と前事業年度に比べて大幅な増収増益となりました。

## 『MEKASYS』を積極的にマーケティング活動に取り入れ、日伝ブランドとして浸透、育成を図る。

今後の景気の見通しにつきましては、東日本大震災により生産活動の低下や個人の消費マインド減退、雇用環境の悪化など、国内景気への影響が懸念されます。また復興に向けての経済波及効果は予測困難で、さらには夏場の電力不足による企業活動への影響など景気下振れリスクもあり、先行きは全く不透明な状況にあります。

こうした中で当社は、支援部隊の強化を図りトータルコーディネート機能をさらに拡大するとともに、引続き全社的な総合展示会から、支店・営業所単位での展示会や出前展示会を開催し、提案力の向上に繋げてまいります。またこれまで同様に直接対話を重視した対面営業を当社の基本としてお取引先との信頼関係を築くとともに、Webカタログの製品情報サイト及び商品カタログ名である『MEKASYS』を、展示会名に冠するなど積極的にマーケティング活動に取り入れて日伝ブランドとして浸透、育成してまいります。

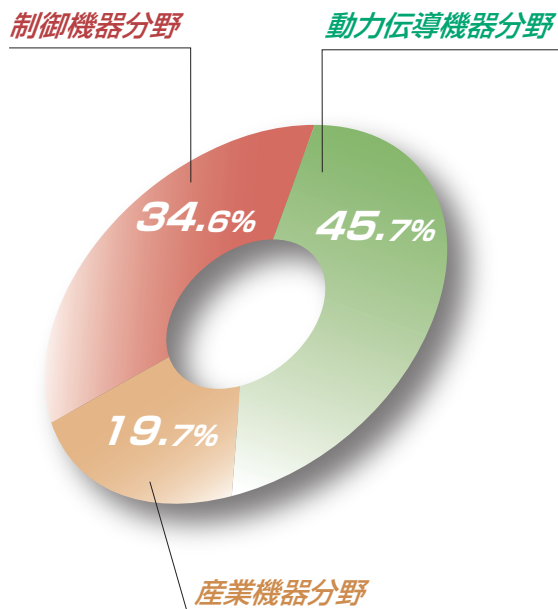
組織面では、営業本部内に商品管理部を新設し、仕入と物流を一体とした機能強化を目指すため、在庫商品の発注から入荷・仕入計上・買掛業務までの一貫・総合管理を進め、効率的な業務運用と在庫商品の管理分析の強化を図ってまいります。

以上により翌事業年度の業績見通しにおきましては、売上高850億円、経常利益39億円、当期純利益22億2千万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

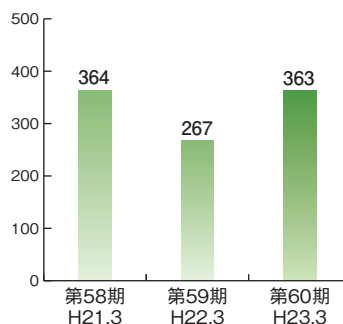
## 事業分野別売上高構成比



## 動力伝導機器分野

動力伝導機器分野では、工作機械の受注回復などから、ベルト伝導用品やその他伝導関連商品、直動機器が大幅に増加した結果、売上高363億9千3百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



### ◆主要な取扱商品

#### 減速機/変速機/伝導用品/軸受/工業用材料

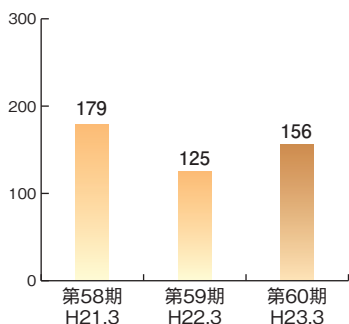
- 減速機/変速機
- チェーン伝導用品/ベルト伝導用品/歯車伝導用品/カップリング/その他伝導関連商品
- ベアリング/直動機器/ベアリングユニット/その他軸受関連商品
- 金属材料/合成材料/セラミック/新素材



## 産業機器分野

産業機器分野では、環境機器、ファンなどの設備環境に関連する機器が増加したほか、その他機械器具・工業関連商品が堅調に推移するなどの結果、売上高156億4千5百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



### ◆主要な取扱商品

荷役運搬機器/モータ/環境機器/FAシステム/  
包装・梱包システム

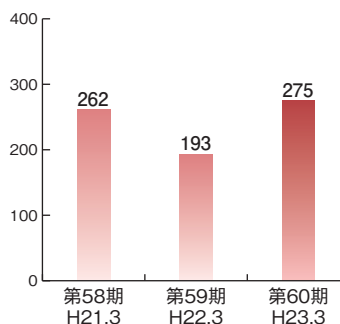
- コンベヤ/運搬機器/振動機/昇降機/保管関連機器/搬送システム/構造用システム機器/包装・梱包システム機器/その他荷役・運搬関連商品
- モータ/環境機器/ファン/集塵・洗浄機器/ポンプ/その他機械器具・工具関連商品



## 制御機器分野

制御機器分野では、半導体・情報関連企業の設備投資需要もあり全主要品目で概ね堅調に推移するとともに、主力の空圧機器のほか、ロボット、ナットランナ及びホース、チューブ、継手が大幅に増加した結果、売上高275億6千8百万円（前年同期比42.2%増）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



### ◆主要な取扱商品

油圧機器/空圧機器/電気/電子

- 油圧機器/空圧機器/真空機器/ホース/チューブ/継手
- シーケンサ/表示器/アクチュエータ/センサ/スイッチ/画像処理/測定機器/計測機器/盤用機器/ロボット/ナットランナ/メカトロパーツ/配管機材/通信・ネットワーク機器/無停電電源装置/その他制御機器関連商品



**NICHIDEN**は、専門総合商社として全国に展開する営業拠点および物流センターのネットワークを活かし、多種多様な商品とその先端技術情報を提供しております。  
また、国内企業の生産活動におけるグローバル化に対応すべく、海外拠点の強化も図っております。

## 海外拠点のご案内

### 〈開設〉

日伝国際貿易（上海）有限公司 中国蘇州事務所  
平成23年1月8日（営業開始日）  
中国においてさらに事業拡大を図るため、天津事務所に続き蘇州に事務所を開設いたしました。蘇州事務所周辺には、日系企業が数多く進出されており、事業拡大を見込めると期待しております。

中国 江蘇省蘇州市獅山路88号金河国際中心808室  
電話 (86)-512-6818-5400  
F A X (86)-512-6818-5418

## 海外事務所（平成23年6月24日現在）



## 事業所のご案内

### 〈移転〉

#### 北九州営業所

平成23年1月5日（営業開始日）  
手狭になりました北九州営業所の業務効率を高めるとともに、販売力をさらに強化するため、北九州市戸畑区に移転いたしました。

〒804-0012  
北九州市戸畑区中原東2-6-15  
電話 093-873-1800  
FAX 093-873-1811

※電話およびFAX番号が変更となっております。



### 〈新築〉

#### 仙台営業所

平成23年2月21日（営業開始日）  
建物の老朽化により、仙台営業所を現敷地内におきまして建替えをいたしました。  
業務効率を高めるとともに、これまで以上に販売力の強化を図ってまいります。

〒983-0043  
仙台市宮城野区萩野町2-12-7  
電話 022-236-0711  
FAX 022-284-0926

※電話およびFAX番号は従来通りです。



## 事業所 (平成23年6月24日現在)

### ■ 東部ブロック

東京支店	〒115-8567	東京都北区神谷3-47-4
札幌営業所	〒065-0016	札幌市東区北16条東3-2-5
北上営業所	〒024-0061	岩手県北上市大通り2-3-12
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町2-12-7
郡山営業所	〒963-8851	福島県郡山市開成6-201-2
新潟営業所	〒950-0812	新潟市東区豊2-1-9
水戸営業所	〒310-0913	茨城県水戸市見川町2563-16
小山営業所	〒323-0042	栃木県小山市外城110-34
高崎営業所	〒370-0046	群馬県高崎市江木町1458-1
埼玉営業所	〒331-0804	さいたま市北区土呂町2-12-3
上田営業所	〒386-0005	長野県上田市古里79-8
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-10-29
横浜営業所	〒221-0834	横浜市神奈川区台町7-8-101
南関東営業所	〒243-0434	神奈川県海老名市上郷959-1
西東京営業所	〒197-0012	東京都福生市加美平2-19-8

### ■ 西部ブロック

大阪支店	〒542-8588	大阪市中央区上本町西1-2-16
八日市営業所	〒527-0039	滋賀県東近江市青葉町1-44
滋賀営業所	〒520-3024	滋賀県栗東市小柿6-9-2-1-1
京都営業所	〒612-8445	京都市伏見区竹田浄菩提院町97
東大阪営業所	〒578-8511	大阪府東大阪市本庄西2-3-27
西淀営業所	〒555-0032	大阪市西淀川区大和田2-1-1
堺営業所	〒590-0943	堺市堺区車之町東2丁2-19
神戸営業所	〒652-0805	神戸市兵庫区羽坂通3-7-15
姫路営業所	〒670-0056	兵庫県姫路市東今宿5-2-6
岡山営業所	〒700-0972	岡山市北区上中野2-1-7
福山営業所	〒721-0955	広島県福山市新漕町1-13-16
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4-14-21
四国営業所	〒761-0301	香川県高松市林町2027-5
九州支店	〒812-9551	福岡市博多区東那珂1-18-11
北九州営業所	〒804-0012	北九州市戸畑区中原東2-6-15
熊本営業所	〒862-0913	熊本県熊本市尾ノ上1-9-20

### ■ 物流センター

東部物流センター	〒339-0042	さいたま市岩槻区府内3-1-5
中部物流センター	〒485-0829	愛知県小牧市小牧原4-111
西部物流センター	〒578-8533	大阪府東大阪市吉田本町1-3-30

(注) 平成23年4月1日付で、近畿物流センターは西部物流センターに名称変更いたしました。

### ■ 中部ブロック

名古屋支店	〒466-8533	名古屋市昭和区白金2-10-7
富山営業所	〒930-0831	富山県富山市鍋田11-18
北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町3-18-13
松本営業所	〒390-0828	長野県松本市庄内2-2-21
静岡営業所	〒422-8027	静岡市駿河区豊田3-2-34
浜松営業所	〒435-0045	浜松市中区細島町6-1
豊橋営業所	〒441-8028	愛知県豊橋市立花町46-2
岡崎営業所	〒444-0863	愛知県岡崎市東明大寺町3-2
小牧営業所	〒485-0829	愛知県小牧市小牧原4-111
鈴鹿営業所	〒510-0236	三重県鈴鹿市中江島町20-20



東部物流センター



中部物流センター



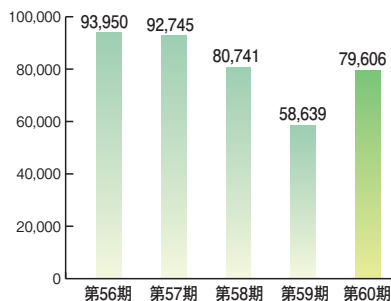
西部物流センター



- 東部ブロック
- 中部ブロック
- 西部ブロック

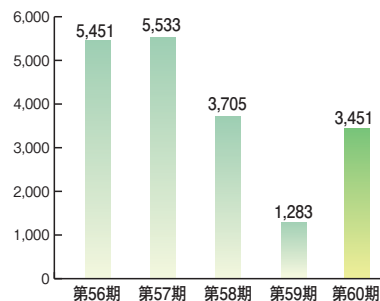
## 売上高

(単位：百万円)



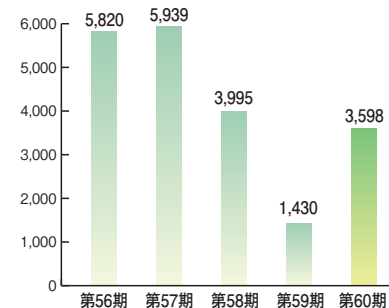
## 営業利益

(単位：百万円)



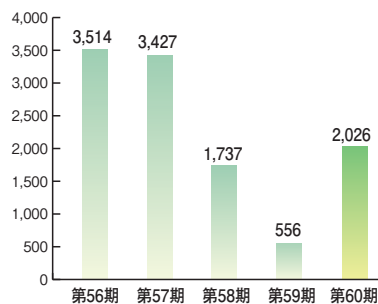
## 経常利益

(単位：百万円)



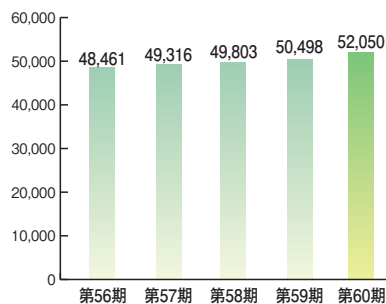
## 当期純利益

(単位：百万円)



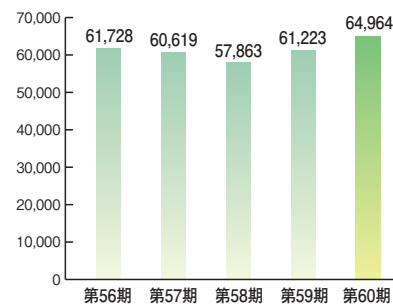
## 純資産

(単位：百万円)



## 総資産

(単位：百万円)

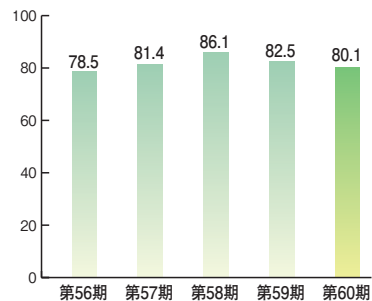


	第56期 (平成19年3月)	第57期 (平成20年3月)	第58期 (平成21年3月)	第59期 (平成22年3月)	第60期 (平成23年3月)
売上高 (百万円)	93,950	92,745	80,741	58,639	79,606
営業利益 (百万円)	5,451	5,533	3,705	1,283	3,451
経常利益 (百万円)	5,820	5,939	3,995	1,430	3,598
当期純利益 (百万円)	3,514	3,427	1,737	556	2,026
純資産 (百万円)	48,461	49,316	49,803	50,498	52,050
総資産 (百万円)	61,728	60,619	57,863	61,223	64,964



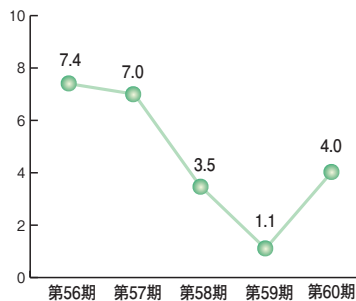
## 自己資本比率

(単位：%)



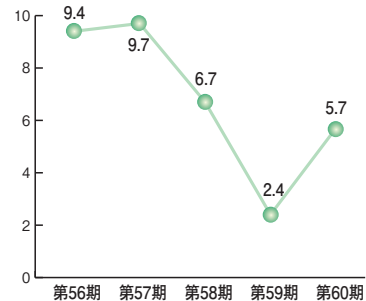
## 自己資本利益率 (ROE)

(単位：%)



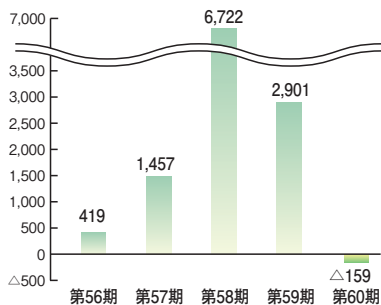
## 総資産利益率 (ROA)

(単位：%)



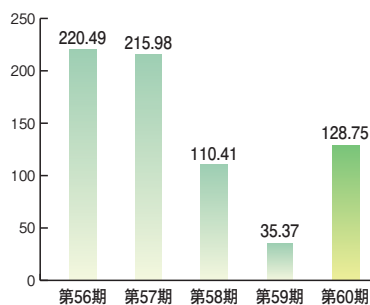
## フリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



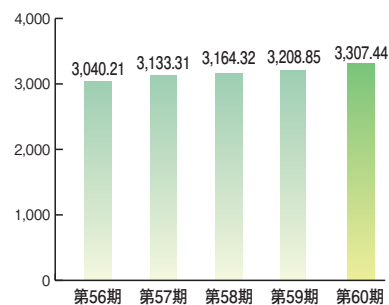
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



## 1株当たり純資産額

(単位：円)



	第56期 (平成19年3月)	第57期 (平成20年3月)	第58期 (平成21年3月)	第59期 (平成22年3月)	第60期 (平成23年3月)
自己資本比率(%)	78.5	81.4	86.1	82.5	80.1
自己資本利益率(%)	7.4	7.0	3.5	1.1	4.0
総資産利益率(%)	9.4	9.7	6.7	2.4	5.7
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	419	1,457	6,722	2,901	△159
1株当たり当期純利益(円)	220.49	215.98	110.41	35.37	128.75
1株当たり純資産額(円)	3,040.21	3,133.31	3,164.32	3,208.85	3,307.44

## 比較貸借対照表（要旨）

（単位：百万円未満は切捨て）

科目	第60期 平成23年3月31日現在	第59期 平成22年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	<b>48,059</b>	<b>42,903</b>
現金及び預金	23,970	23,586
受取手形	9,051	6,788
売掛金	10,409	8,841
商品	4,082	3,179
その他	562	518
貸倒引当金	△17	△12
固定資産	<b>16,905</b>	<b>18,320</b>
有形固定資産	9,589	9,842
無形固定資産	306	433
投資その他の資産	7,009	8,044
資産合計	<b>64,964</b>	<b>61,223</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	<b>10,047</b>	<b>7,986</b>
支払手形	831	669
買掛金	6,912	6,037
その他	2,303	1,278
固定負債	<b>2,866</b>	<b>2,738</b>
負債合計	<b>12,914</b>	<b>10,724</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	<b>51,271</b>	<b>49,639</b>
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	39,180	37,548
自己株式	△560	△560
評価・換算差額等	<b>778</b>	<b>859</b>
その他有価証券評価差額金	778	859
繰延ヘッジ損益	0	0
純資産合計	<b>52,050</b>	<b>50,498</b>
負債純資産合計	<b>64,964</b>	<b>61,223</b>

## 比較損益計算書（要旨）

（単位：百万円未満は切捨て）

科目	第60期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	第59期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	<b>79,606</b>	<b>58,639</b>
売上原価	68,152	50,201
売上総利益	11,453	8,437
販売費及び一般管理費	8,002	7,153
営業利益	<b>3,451</b>	<b>1,283</b>
営業外収益	467	403
営業外費用	319	256
経常利益	<b>3,598</b>	<b>1,430</b>
特別利益	3	54
特別損失	71	363
税引前当期純利益	<b>3,531</b>	<b>1,122</b>
法人税、住民税及び事業税	1,547	661
法人税等調整額	△42	△95
当期純利益	<b>2,026</b>	<b>556</b>

### 貸借対照表について

#### 固定資産

固定資産は、前事業年度末に比べ14億1千5百万円減少し、169億5百万円となりました。これは、流動資産への振替により長期預金が10億円減少したこと等によるものであります。

#### 純資産

純資産合計は、利益剰余金の増加等により前事業年度末に比べ15億5千1百万円増加し、520億5千万円となりました。

### 損益計算書について

#### 売上高

売上高は、国内企業における設備投資需要の回復もあり、前事業年度に比べ209億6千6百万円増加し、796億6百万円となりました。

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円未満は切捨て)

科目	第60期	第59期
	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	63	3,272
投資活動による キャッシュ・フロー	△223	△371
財務活動による キャッシュ・フロー	△479	△716
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額 (△)	△638	2,186
現金及び現金同等物の 期首残高	23,339	21,152
現金及び現金同等物の 期末残高	22,700	23,339

## キャッシュ・フロー計算書について

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、6千3百万円となりました。これは主に、売上債権の増加が37億7千4百万円あったものの、税引前当期純利益が35億3千1百万円、仕入債務の増加が10億2百万円あったこと等によるものであります。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2億2千3百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が5億1千6百万円あったものの、定期預金の預入による支出が5億3千7百万円あったこと等によるものであります。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、4億7千9百万円となりました。これは、1株当たり25円の配当金等の支払額が3億9千4百万円あったことによるものであります。

## 株主資本等変動計算書

第60期 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：百万円未満は切捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成22年3月31日残高	5,368	7,283	37,548	△560	49,639	859	0	859	50,498
事業年度中の変動額									
固定資産圧縮積立金の取崩			-		-				-
剰余金の配当			△393		△393				△393
当期純利益			2,026		2,026				2,026
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△81	△0	△81	△81
事業年度中の変動額合計	-	-	1,632	△0	1,632	△81	△0	△81	1,551
平成23年3月31日残高	5,368	7,283	39,180	△560	51,271	778	0	778	52,050

## ● 展示会の開催

### ● MEKASYS in OSAKA



11月10日(水)・11日(木)に当社近畿物流センター（現 西部物流センター、大阪府東大阪市）において省エネ・自動化機器の展示会「MEKASYS in OSAKA」を開催いたしました。  
関西地区の販売店関係者やエンドユーザーに最新機器を紹介し、仕入先メーカーによる関連セミナーや物流センター見学会を実施いたしました。

### ● MEKASYS in NAGOYA



1月26日(水)に日本ガイシフォーラム（名古屋市南区）において生産財展示会「MEKASYS in NAGOYA」を開催いたしました。  
物流機器や機械部品、制御機器、省エネ機器など、中部地区の仕入先メーカーや販売店のご協力により、48社が出展いたしました。

## 環境への取り組み

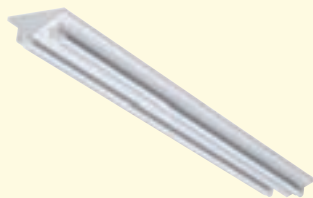


# ACCESS to ECO

## 東部・西部に加え中部にも「FAシステムグループ」を新設

販売支援部門として「FAシステム・環境推進部」内に、平成23年4月より「中部FAシステムグループ」を新たに設置いたしました。

東部、中部、西部の各FAシステムグループでは「工場の自動化・省人化」のシステム提案をはじめ、省エネなどの環境配慮商品の販売強化を図ってまいります。



直管形LED



高天井用LED



身近な商品がどんどん「ECO商品」になっていく！！

伝えます 未来にやさしい環境を  
**ACCESS to ECO**  
～環境をシステムで創造する企業日伝～

## 会社の概要 (平成23年3月31日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	昭和27年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	722名

## 役員 (平成23年6月24日現在)

代表取締役会長	西木 利彦
代表取締役社長	福家 利一
専務取締役	西木 利博 管理本部長
専務取締役	野村 純一 営業統括
常務取締役	森田 久孝 海外部長
取締役	榊原 恭平 MEシステム統括部長兼西部MEシステム部長
取締役	酒井 義之 西部ブロック長
取締役	岡本 賢一 中部ブロック長
取締役	寒川 睦志 営業本部長兼営業推進部長
常勤監査役	河村 竹佳
常勤監査役	石谷 勇児
監査役	小山 章松
監査役	古田 清和

(注) 監査役のうち、小山章松、古田清和の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。なお、当社は古田清和氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## ホームページのご案内

当社ホームページ



<http://www.nichiden.com>

IR情報

## Webカタログの製品情報サイト



「MEKASYS(メカシス)」は、取扱商品50万点以上の仕様・価格や図面データも閲覧できる製造業に関わる人たちのためのメカニカルパーツ&システム専門のWebカタログです。



<http://www.mekasys.jp>

## 電子購買サービス



「PROCUEbyNET(プロキュバイネット)」は、ものづくり現場における工場用MRO商品(生産用副資材)受発注のための会員制ポータルサイトです。



<http://www.procuebynet.com>

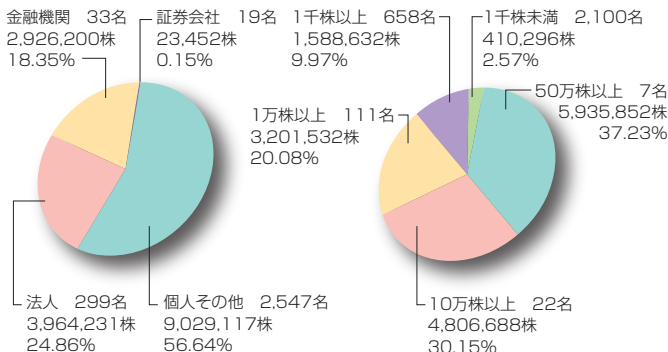
## 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

- 発行可能株式の総数…………… 63,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 15,737,260株  
(自己株式205,740株を除く。)
- 株主数…………… 2,898名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日伝共栄会	1,450	9.21
西木 利彦	1,407	8.94
西木 進	743	4.72
日伝仕入先持株会	669	4.25
株式会社みずほ銀行	600	3.81
株式会社百十四銀行	541	3.43
有限会社ニシキ興産	523	3.32
日伝従業員持株会	459	2.92
西木 利博	372	2.36
株式会社りそな銀行	335	2.12

(注) 持株比率は自己株式(205,740株)を除いて計算しております。

### ●所有者別株式分布状況 ●所有株式数別株式分布状況



## 株主優待制度のお知らせ

日頃のご愛顧にお応えするため、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のご住所へ次のおりご優待品を12月中に贈呈させていただきます。

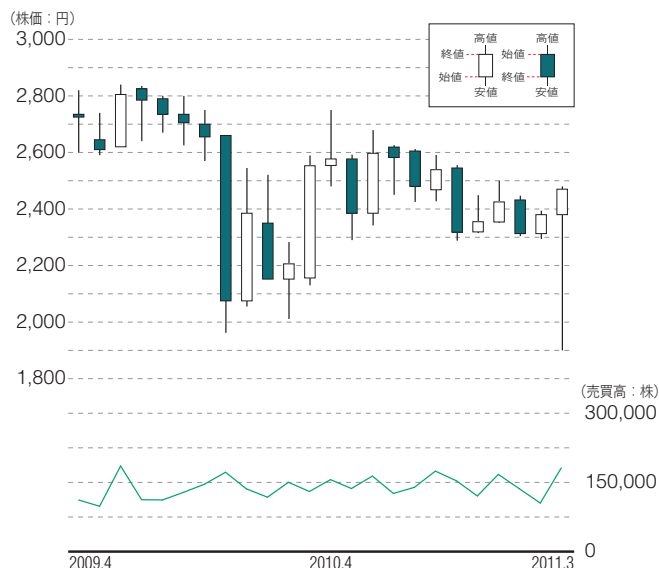


■1,000株以上所有(一律)  
《こだわり厳選セット・無洗米2kg詰め3パック》  
幸南食糧(株) <http://www.kohnan.co.jp>



■100株以上1,000株未満所有(一律)  
《讃州育ち本切りセット・さぬきうどん300g×3袋(9人前)》  
(株)めりけんや <http://www.merikenya.com>

## ●株価および株式売買高の推移



(注) 株価および株式売買高の推移は、東京証券取引所におけるものです。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された所有株式数100株以上の株主様に対して当社指定粗品を贈呈いたします。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル） ホームページアドレス <a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou</a>
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
	未払配当金の支払については、みずほ銀行 全国各支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

### 【上場株式配当金の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、「支払通知書」の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、平成24年の確定申告の添付資料としてご利用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成24年の確定申告の添付書類としてご使用いただける「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

## IRインフォメーション

### IRに関するお問い合わせ先

[irg@nichiden.to](mailto:irg@nichiden.to)

IR関連のお問い合わせは上記のお問い合わせフォームより承っております。資料請求、ご質問、ご意見、ご要望などございましたら、気軽にお問い合わせください。

#### ■2010年のIRカレンダー

8月6日 ▶ 2011年3月期第1四半期決算発表

8月10日 ▶ 2011年3月期第1四半期決算説明会スモールミーティング

11月8日 ▶ 2011年3月期第2四半期決算発表

11月18日 ▶ 2011年3月期第2四半期決算説明会  
(LEVEL XXI (レベル21) オリオンルーム)

#### ■2011年のIRカレンダー

2月4日 ▶ 2011年3月期第3四半期決算発表

2月16日 ▶ 2011年3月期第3四半期決算説明会スモールミーティング

5月10日 ▶ 2011年3月期決算発表

5月25日 ▶ 2011年3月期決算説明会 (LEVEL XXI (レベル21) オリオンルーム)

6月24日 ▶ 第60期定時株主総会開催

## 配当金のご案内

当社の配当方針は、平成16年5月の取締役会で「配当性向20%以上、1株当たり20円を下限とする。」と定めております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当35円（年間）にて実施いたしました。

翌事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当40円を予定しております。



伝えます 未来にやさしい環境を  
**ACCESS to ECO**  
～環境をシステムで創造する企業日伝～

メカニカルパーツ&システム総合サイト

**MEKASYS**  
<http://www.mekasys.jp>

「MEKASYS」は、株式会社日伝の登録商標第5354848号です。

